

**製品名: CCNI ウサギポリクローナル抗体****カタログ番号: APRab08149**

研究使用のみ

**概要**

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,ELISA
反応性	ヒト、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,ELISA 1:5000-1:20000
分子量	41kDa

**抗原情報**

遺伝子名	CCNI
別名	
遺伝子 ID	10983.0
SwissProt ID	Q14094
免疫原	ヒトタンパク質由来の合成ペプチド。AA 範囲: 30-110

**背景**

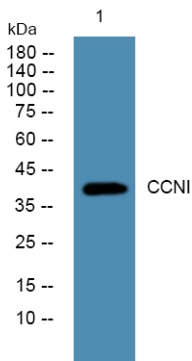
この遺伝子によってコードされるタンパク質は、高度に保存されたサイクリンファミリーに属し、そのメンバーは細胞周期を通してタンパク質存在量の劇的な周期性によって特徴付けられる。サイクリンは CDK キナーゼの調節因子として機能する。異なるサイクリ

ンはそれぞれ異なる発現および分解パターンを示し、各有糸分裂イベントの時間的調整に寄与する。このサイクリンはサイクリン G と最も高い類似性を示す。この遺伝子の転写物は、細胞周期の進行中に定常的に発現することがわかった。このサイクリンの機能はまだ解明されていない。[RefSeq 提供、2008 年 7 月]、発生段階:肺線維芽細胞における発現は細胞周期とは無関係である。類似性:サイクリンファミリーに属する。組織特異性:成人の心臓、脳、骨格筋で最高レベル。成人の胎盤、肺、腎臓、脾臓では低レベル。また、胎児の脳では高レベル、胎児の肺、肝臓、腎臓では低レベル。精巢や甲状腺にも豊富に含まれています。

## 研究分野

-

## 画像データ



SW480 細胞溶解液のウェスタンブロット分析、CCNI ウサギポリクローナル抗体を 1:1000 に希釈し、4°で一晩